

製品名: Jamip2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12828**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	95kDa

抗原情報

遺伝子名	JAKMIP2
別名	JAKMIP2; JAMIP2; KIAA0555; NECC1; Janus kinase and microtubule-interacting protein 2; CTCL tumor antigen HD-CL-04; Neuroendocrine long coiled-coil protein 1
遺伝子 ID	9832.0
SwissProt ID	Q96AA8
免疫原	抗血清はヒト JAKMIP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 761-810

背景

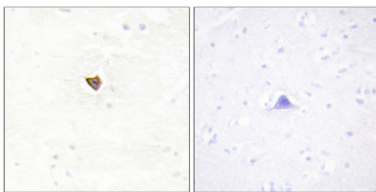
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ゴルジ体マトリックスの構成要素であると報告されています。分泌貨物の輸送を負

に制御し、ゴルジ体の構造的足場として機能することで、ゴルジタンパク質として作用する可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2012年8月],類似性: JAKMIPファミリーに属します。組織特異性: 脳で高発現、胸腺、脾臓、肺で中等度の発現、腎臓、肝臓、末梢血リンパ球で弱発現。また、副腎、下垂体、精巣でも発現します。、

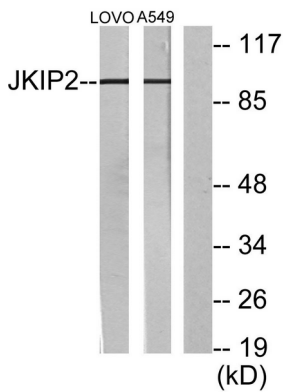
研究分野

-

画像データ



JAKMIP2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



JAKMIP2 抗体を用いた LOVO 細胞および A549 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。